

1. 常の活動など

・グリーンツーリズムへの取り組みを行いました

農事組合法人のグリーン5さんと館島田生産組合さんの体験型農業イベントに参加させていただき、体験型農業交流事業(グリーンツーリズム)について学ばせて頂きました。また市の協力をいただきながら地元の方々と「トウガラシ」生産に取り組みました。

・角田市の学校適正規模検討について地域の皆さんと考えて行きます

今回の検討の当事者は、金津中学校区の子どもたちであり、保護者、地域住民です。学校や教育を考えることは、地域の未来を考えることです。今、検討委員会を中心に保護者の皆さんが真剣に考えています。「枝野小学校と地域の未来を考える会」を足掛かりとして、多く地域の方にも検討の輪に参加していただきたいと活動しています。

・みんなの森林づくりプロジェクトを進めています

10年前の山火事後つくられた防火帯の林道が一昨年の台風で寸断されたままになっています。それ以前からも里山は人の手が入らなくなり、荒れてイノシシやサルに住処と化しています。豊かな自然環境を取り戻したい、そんな思いを持つ皆さんが「大森山をあおぐ会」を組織して、里山版多面的交付金を受けながら整備事業を行っています。目黒家廟所もたいへんきれいになりました。

2. 質疑、一般質問など

・角田市の教育と地域コミュニティの再生について(6月)

角田市公立小中学校適正規模検討委員会の進捗状況を市民に説明し、広く意見を求めつつ慎重に進めることを申し入れました。また教育の向上には地域コミュニティの再生・強化が不可欠と主張しました。

・角田市の学校適正規模検討の議論について(9月)

教育先進国が小規模教育に転換する中、小規模学校のメリットを生かす教育を提案しましたが、小規模化により社会性が弱まることを懸念するとのことでした。またPTAや子ども会育成会などが任意で「枝野小学校と地域の未来を考える会」をつくり、地域に根差した学校教育の在り方を探っていることを紹介し、評価を得ました。

・角田市保育施設等統廃合について(12月)

統廃合の流れを受けて、幼児教育の大切さと小規模保育の有効性を主張し、公立保育施設の存続の可能性を問いましたが、結果としてかえりませんでした。また、枝野6区を事例に、女性が暮らしやすいコミュニティが人口減少対策に有効であることを説きました。

・角田市の学校適正規模検討の議論について(再)(2月)

検討委員会が進み検討案が出される大切な時期を迎え、今後のスケジュールを問い、12月に次期将来構想を作成予定であることを確認。その上で、安易な統廃合で無く、適正化の中で角田市の教育ビジョンを具現化していくこと、学校と地域の関係を構築することの大切さを問いました。少子高齢化の中、新しい局面の地域づくりを本格的に議論し、学校と社会教育が両輪となるような教育のまちづくりをしたいとの回答でした。

もう一つ、枝野地区で行われた体験型農業イベントを例に、道の駅開業を念頭にグリーンツーリズムの促進策を提言しました。

・角田型コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の導入について(6月)

前回の回答、学校と社会教育が両輪となるような教育のまちづくりの方法として、コミュニティスクール制度(育てたい子ども像・目指すべき教育ビジョンを、保護者や地域住民と共有し、学校と地域と子どもたちが連携し、目標の実現に向けて共に熟考し、協働する制度で、導入が努力義務となっています)の導入を提案しました。今後検討していく旨の回答を得ました。

感謝とさらなるお願い

黒須貴後援会会長
佐藤 勝征

皆さまには日ごろより当会の運営、黒須とおるの議員活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。早いもので初当選より4年が経ちました。

この間、本人は積極的に議員活動にとりくみ、市内外を巡り研鑽をつみ課題に向き合ってきたようです。15回の定例会議に臨み、適時の質疑、とりわけ欠かさず行なう一般質問はいずれも前向きな政策提言であり、いくつかは市政に反映されています。また、地域の課題に果敢にとり組み、地元の議員としてもしっかり根差そうとしています。このように活躍できつつあるのも皆さまの支えがあってこそで、あらためてありがたく思うところです。

しかしながら、本誌中の《公約自己採点》で本人が謙虚に採点しているとおり、結果を出すにはまだまだ経験が浅く、修行の日々であります。不足のところも多々あると思います。更なる叱咤激励をお願い致します。

昨年末の役員会で、本人から次期への出馬表明がありました。議員としてこれからは本番と思いますが、選挙は2期目が難しいと言います。2カ月後の選挙に向け、態勢を整え、会の活動を進めてまいります。皆さまにはより一層のご指示、ご協力を何とぞお願い致します。

ふる里を元気にできたか？ 明るい未来は見えたか？!

4年前の選挙公約をどれほど実現できたか。なぜできたのか、あるいはできなかったのか。総括し自己評価を示して、選挙で審判いただく。その過程を経てこそ次に進めると考えます。

誰もが暮らしたい、生活しやすい角田市を目指して

積極的に婚活支援!

いらっしやいプランの条件緩和で、さらなる転入促進を!

15点

いらっしやいプランについては条件緩和を申し入れ実現に至りました。あわせて、わが子の定住を促す「お帰りなさいプラン」の提案もしました。ただ、転入より転出が多く、人口減少に歯止めをかけるには至りませんでした。今年度からは、新たに国の地域少子化対策重点推

進交付金を活用した「角田市結婚新生活支援事業補助金」に切り替え、角田市で結婚し定住してもらうことを支援しています。ちなみに、今期中に私が直接仲立ちをして縁結びをしようと努力していますが、いまだ達成できていません。

2人目から保育料無料!

夢をいなく子どもたちに充実した修学支援!

30点

保育料について一般質問などで質し、保育環境整備と併せて教育厚生常任委員会などで検討、国の政策もあり本年10月から無料化が決まりました。今後は所得制限撤廃が課題です。

就学支援については、持続可能な角田市奨学金制度を教育厚生常任委員会において当局と協議し議会上程

し制定に至りました。各種奨学金と組み合わせることで、意欲があれば進学できる環境となって来ました。ただ、所得制限、返還制度など解決すべきことはあります。いづれにしても少子化問題の解決には国の抜本的対策が不可欠であり、要望していきます。

ふる里づくりは人づくり!

家庭・学校・地域が一体となって教育環境の充実を!

30点

最も多くの力を費やしています。国であれ地域であれ、未来をつくる基本は教育です。少子化は危機的状況で、このままでは角田市の未来は危うい。公立幼稚園・児童館等の廃止検討では最後まで手を尽くしましたが、郡部に子どもがいない状況はいかんともし難く、苦渋の決断

となりした。小中学校適正化は十分な時間をかけ広く意見を聞き、検討、説明を尽くすよう提言しています。また、家庭・学校・地域が共にこの問題に取り組むよう働きかけています。今こそ、より良い角田市の教育、子育てしたくなる教育環境をつくる好期です。



ネギまつりの畑にて



みんなの森林づくりプロジェクト
作業風景



枝野小学校と目黒区の農業体験
交流復活



道の駅かくだオープニングにて

UターンにUターン! 若者就労の場を角田市に! 担い手後継者の育成を!

25点

企業誘致は簡単ではありませんが、市長がトップセールスに歩くなど様々な手を尽くしており、支持しています。スマートインターチェンジ開設などを受けて、誘致エリアの拡大や高速道路・幹線道路のさらなる整備を提言しています。起業を支援するスプラウト事業もすすめています。また、首都圏からの移住や転職をサポートするNPO「ふるさと回帰支援センター」と市との連携を支持しています。農・商工業の担い手育成は、さらに使い勝手のいい支援制度を探り国の機関へも伺っています。特に農林業については、現場に関わらせていただき学ぶなかで、課題と解決策を探る日々です。



運動公園エリアに道の駅!

隈東地区に交流とにぎわいの里づくり!

45点

賛成したことであり、議会のみならず出荷者にも参加して積極的にかかわっています。スポーツ公園と一体化した道の駅という特性が発揮され順調な滑り出しを見せていますが、これからが本番で、関係者のいっそうの工夫

と連携を支援します。また、来場者の市内、近隣市町への導入強化を促します。賛成の条件である温浴施設の整備を継続して模索します。

高齢者世帯への支援!

介護・障がい者福祉などの一層の充実を!

30点

ご高齢の方や障害をお持ちの方が、住み慣れたところで安心して生活できる地域包括ケア社会づくりを、当局と共にすすめて来ました。さらにその中に医療機関が連携するよう、みやぎ県南中核病院企業団議会議員として

も働きかけています。また、近年増加傾向にある発達障害児への支援体制づくりにも取り組んでいます。今後は免許返納問題、障害者就労についても取り組むべく、調査研究をしているところです。

放射線問題・水害等防災対策にしっかり取り組み、 安心安全のまちづくり!

40点

低レベル放射線廃棄物焼却は、仙南クリーンセンターで安全処理が可能であり推進しています。ホダギなど森林資源活用再開を念頭に、県の森林汚染状況調査を誘致しました。

防災については消防団員として現場で活動しながら、皆さんの意見を頂戴しつつ対応しています。また、自らできる防災手段としての「マイタイムライン」の導入、阿武隈川氾濫予想水位の表示、消防団設備の充実、他国か

らミサイル飛来時の対応など、関係機関と共に対応しています。内水排水については当局と共に関係省庁に直接陳情に伺いました。

地球温暖化に対応するため、全小中学校へのクーラー設置を提案し可決しました。今後は森林環境税の有効活用など具体的対応策、環境教育のさらなる推進など基礎的対応策を提言していきます。